

事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	儀礼交際用経費	部課名 担当者名	総務企画部総務企画課 小室・齊藤	課長名 内線	五味 智子 2211
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	儀礼交際用経費（01-02-04）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	63 年度	根拠	儀礼交際用経費支出基準	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	事務事業に係る儀礼的な交際経費の一部を支出することにより、各種団体との関係や連携の円滑化を図るとともに、表意者の負担軽減を図ることを目的とする。				
対象者等	部長級職員、課長級職員、係長級職員				
内容	<p>1 支出できる対象 各部（局）の事務事業に直接かつ密接に関係がある 団体等の主催する会合等における会費、 個人を対象とする慶事、弔事、見舞い 「会費」とは、会議、懇談会、懇親会等における会費、参加費等を言う。</p> <p>2 支出金額 会費：会費相当額（上限5,000円） その他（見舞い等）：実支出額の2分の1の額（上限額5,000円）</p>				
経過	<p>昭和63年度 事業開始 平成4年度 支出対象の拡大（関係団体の役員の家族を対象に追加） 平成13年度 支出基準の見直し 平成15年度 支出対象の見直し 平成19年度 対象者の見直し、支出金額の見直し</p>				
必要性	区政運営に密接に関係のある各種団体との関係強化や連携の円滑化を図るため、必要である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>毎月10日までに表意者から提出される報告書について、儀礼交際用経費支出基準に照らし、基準に合致した場合のみ支払を決定する。</p>				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	予算額	1,104	1,042	1,705	2,650	2,960	2,940	2,650
	決算額（23年度は見込み）	772	894	1,482	2,650	2,960	2,940	2,650
	人件費	862	1,281	964	1,759	896	994	
	減価償却費						726	
	【事務分担量】（%）	10	15	22	35	25	25	
	合計（+ +）	1,634	2,175	2,446	4,409	3,856	4,660	2,650
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
一般財源	1,634	2,175	2,446	4,409	3,856	4,660	2,650	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	件数	300	343	489	625	653	682	-
	一件あたり平均額（単位：円）	2,574	2,607	3,031	4,239	4,532	4,310	-

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	儀礼交際用経費	2,960	儀礼交際用経費	2,940	儀礼交際用経費	2,650

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	儀礼交際用経費表意件数	625	653	682	67 (~5月分)		

（問題点・課題）	<p>荒川区の地域性を考慮し、区として各種団体等との円滑な関係を築くために、引き続き制度を維持していく必要があるが、支出対象等について、随時適切な見直しをしていく必要がある。</p>
他区の実況	（ 実施 14 区 未実施 8 区 ）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
報告書の厳格なチェックによる適正な補助を行う。	基準に合致した適正な制度の運営を図ることができる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
改善・見直し	継続	引き続き適正に実施する。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	区長交際費	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野 佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	区長交際費（01-03-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	23年度	根拠	区長交際費の内訳及び支出基準	
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	交際費は、区長が行政執行上、あるいは区を代表し、外部との交渉、交際をするために要する経費として支出する。				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区関係団体が主催する総会、新年会、懇親会の会費 ・ 区功労者表彰受賞者など区の発展に功労顕著であった方をはじめ区の事務事業執行上密接に関わるの方々に対しての慶弔費（祝金、生花料、香典） ・ 区関係団体の役員及び区の事務事業執行上密接に関わる個人に対する病気見舞等に係る経費 ・ 交流都市等で実施されるまつり等への祝金 				
内容	<p><交際費の内訳及び支出基準></p> <p>（1）交際費の内訳は、慶弔費、会費、お見舞いからなる。</p> <p>（2）交際費の支出基準は、社会通念上適正な範囲内で、かつ必要最低限の額とする。 平成16年12月支出分から（西川区長就任時から）、ホームページ上で公開をしている。</p>				
経過	昭和23年度 平成元年度 平成14年度	交際費を計上 支払い方法の変更 情報公開基準を設定する （病気見舞い等プライバシーに配慮が必要な場合は相手方の氏名等を非公開とするが、それ以外は原則として公開）			
	平成17年度 平成23年度	交際費支出基準についてホームページで公開（平成16年支出分から公開） 交際費予算額を変更（421千円）			
必要性	区長が行政執行上、あるいは区の利益のために区を代表し、外部と交渉、交際するために必要である。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 交際費の性格からして、一般的には、区長が職務執行上、必要な場合に限り使用するものであること、また、住民の関心の高い経費であることから、執行の範囲及び額については、必要最小限度にとどめるとともに、予算額についても他の団体の予算額等も参考とし、適正な額を計上する必要がある。				

		（単位：千円）						
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算・決算額等の推移	予算額	3,951	3,951	3,951	3,951	3,951	3,951	3,530
	決算額（23年度は見込み）	2,642	2,903	2,848	2,675	2,421	2,677	3,530
	人件費	431	427	427	427	407	436	
	減価償却費						145	
	【事務分担当】（%）	5	5	5	5	5	5	
	合計（+ +）	3,073	3,330	3,275	3,102	2,828	3,258	3,530
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	3,073	3,330	3,275	3,102	2,828	3,258	3,530
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	慶弔費	1,145	1,341	1,263	1,096	904	1,167	
	会費	1,465	1,471	1,540	1,559	1,498	1,490	
	お見舞い	30	90	46	20	20	20	

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）		
	交際費	交際費	2,421	交際費	2,677	交際費	3,530

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	区長が行政執行上、あるいは区を代表し、外部と交渉、交際をするために必要な経費であり、今後とも適正な執行に努める。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	副区長交際費	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野 佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	副区長交際費（01-03-02）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	15年度	根拠	
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]			
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]			
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]			
目的	交際費は、副区長が行政執行上、あるいは区長の補佐役として、外部と交渉するために要する経費として支出する。				
対象者等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体が主催する総会、新年会、懇親会の会費 ・区功労者表彰受賞者など区の発展に功労顕著であった方をはじめ区の事務事業執行上密接に関わるの方々に対しての慶弔費（祝金、生花料、香典） ・区関係団体の役員及び区の事務事業執行上密接に関わる個人に対する病気見舞等に係る経費 				
内容	<p><交際費の内訳及び支出基準></p> <p>（1）交際費の内訳は、慶弔費、会費、お見舞いからなる。</p> <p>（2）交際費の支出基準は、社会通念上適正な範囲内で、かつ必要最低限の額とする。</p>				
経過	<p>平成15年度 助役交際費を計上</p> <p>平成19年度 副区長交際費へ名称変更、副区長2人体制となる</p> <p>平成23年度 交際費予算額を変更（50千円）</p>				
必要性	区長を補佐し、行政執行上、あるいは区の利益のために区を代表し、外部と交渉するために必要である。				
実施方法	<p>（1直営）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）</p> <p>交際費の性格からして、一般的には、職務執行上、必要な場合に限り使用するものであること、また、住民の関心の高い経費であることから、執行の範囲及び額については、必要最小限度にとどめるとともに、予算額についても他の団体の予算額等も参考とし、適正な額を計上する必要がある。</p>				

予 算 ・ 決 算 額 等 の 推 移	（単位：千円）							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額	500	500	500	1,000	1,000	1,000	950	
決算額（23年度は見込み）	189	498	619	744	714	692	950	
人件費	431	427	427	427	407	436		
減価償却費						145		
【事務分担量】（%）	5	5	5	5	5	5		
合計（+ +）	620	925	1,046	1,171	1,121	1,273	950	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	620	925	1,046	1,171	1,121	1,273	950	
実 績 の 推 移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	慶弔費	35	135	135	215	10	195	
	会費	154	332	464	489	674	497	
	お見舞い	0	30	20	40	30	0	

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	交際費	交際費	714	交際費	692	交際費	950

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標							

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 0 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	行政執行上、あるいは区長を補佐し外部と交渉をするために必要な経費であり、今後とも適正な執行に努める。

議会議況（要旨）	
----------	--

事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	教育委員会交際費	部課名	教育委員会事務局教育総務課	課長名	入野 隆二						
		担当者名	嶋林 ルミ子	内線	3312						
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	交際費（01 - 02 - 02）										
事務事業の種類	新規事業	23年度	22年度	建設事業	それ以外の継続事業						
開始年度	昭和	平成	27年度	根拠	教育委員会交際費支出基準						
終期設定	有	無	年度	法令等							
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画						
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]									
	政策	積極的な区政情報の発信と信頼される区政の推進[14]									
	施策	各種団体等との円滑な連携[14-05]									
目的	教育委員会が教育行政の円滑な運営を行うため、区以外の者、団体と交渉するための経費										
対象者等	教育長、教育委員会として支出										
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・内訳は下記のとおり 慶弔費（教育関係団体役員や教育行政に密接に関係する個人に対する叙勲・表彰祝い・香典等） 会費（教育関係団体が主催する総会、新年会、忘年会、懇親会等） 接待費（区内・区外からの教育委員会の接待に係る経費） 購読料（教育関係紙の購読に係る経費） 見舞（教育関係団体役員や教育行政に密接に関係する個人に対する病気見舞い等の経費） ・社会通念上、妥当と思われる範囲において支出する。 										
経過	平成11年4月15日 区長交際費の内訳及び支出基準制定（総務部総務課）										
	平成20年7月15日 教育委員会交際費支出基準制定										
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	予算額（千円）	634	634	634	634	634	634	634	634	634	603
対前年度増減（千円）	33	0	0	0	0	0	0	0	0	31	
対前年度増減率（％）	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	
必要性	教育行政の円滑な運営を行うため必要										
実施方法	（1直営（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員）										

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額	634	634	634	634	634	634	634	603
決算額（23年度は見込み）	455	590	450	364	496	397	603	
人件費等			427	847	814	872		
減価償却費						291		
【事務分担量】（％）			5	10	10	10		
合計（+ +）	455	590	877	1,211	1,310	1,269	603	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	455	590	877	1,211	1,310	1,269	603	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	支出内訳（件数）慶弔費	15	18	14	12	15	7	6
	会費	48	43	51	48	67	61	60
	接待費	0	1	3	0	0	0	2
	購読料	0	0	0	0	0	0	10
	見舞金	0	3	1	1	0	0	2

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項		主な事項		主な事項	
		金額（千円）		金額（千円）		金額（千円）	
	交際費	決算額	496	決算額	397	予算額	603
		慶弔費	129	慶弔費	35	慶弔費	30
		会費	367	会費	362	会費	573
		接待費	0	接待費	0	接待費	10
		購読料	0	購読料	0	購読料	10
		見舞	0	見舞	0	見舞	10

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	慶弔費（件）	12	15	7	6		
	会費（件）	48	61	61	60		
	接待費ほか（件）	1	0	0	14		

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 未実施 区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	継続	教育委員会としての事務執行上、必要

議会議況（要旨）	
----------	--